

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値	30年度の実績値
入館者数	人	78,000	69,539

未達成の要因と分析	<p>29年度実績68,586人と比較して、小中学生や大人を中心に953人増加したが、以下のとおり未達成となった。</p> <p>【要因】①学校関係 ②学校以外 ③その他(外的要因)</p> <p>【分析】</p> <p>①学校関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の入館者数の低迷 ・大阪市外→来館までの安全確保や移動に要する経費が負担になっている。 ・カリキュラムの増加により、校外学習の時間が奪われている。 ※未来館学校への理由の聞き取りによると、11校が「校外学習の予定がない」と回答 ・教員の平和研修の機会の減少により、ピースおおさかを知らない教員が増え、校外学習先として選択されなくなっている。 ・教育関係権限を移譲された中核市は、教員研修等を市内で実施する傾向がある。 ・府内全体の小中学生の減少（H29:673,423人→H30:664,279人（-1.4%）） <p>②学校以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人及び65歳以上については、企画事業等の効果もありH29年度から517人増（+3.1%）となったが、大幅増につながる事業展開が行えなかった。 ・外国人についてはH29年度から微増（+4.9%）となったが、急増する来阪外国人観光客を取り込めていない。 ・周遊パスを利用した外国人が減少している。（H29：2593人→H30：2142人（利用者のほとんどが外国人）） ・かつて行われていた企業研修等が減少している。 <p>③その他(外的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は6月の大阪北部地震や7月の豪雨・猛暑等の異常気象が相次ぎ、来館に影響を及ぼした。 ・館内整理（突発的な修繕工事等）により、5日間の臨時休業を行った。
------------------	---

今後の改善方策	<p>①学校関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員研修等の積極的な誘致による講堂・会議室等の活用 ・教育委員会や校長会への訪問のみならず、各学校の人権担当教員の集まる会議においてもPRを実施し、メインターゲットである小中学校の来館を促進する。 ・府外の教育委員会等でもPRを実施することを検討 ・旅行会社との連携（高校生の修学旅行等） <p>②学校以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著名人による発信力あるイベントの実施（継続） ・イベントチラシ等のダイレクトメールを近隣自治会等へ拡大 ・外国人向けとして、英語表記の充実化 ・旅行会社や大阪観光ボランティア協会との連携により、訪日外国人の誘客に努める。
----------------	---

〔2〕

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値	30年度の実績値
入館者1人当たりの事業費	千円	1.0	1.2

未達成の要因と分析	<p>○入館者数が目標に届かなかった。</p> <p>○常設展示の英語表記の追加や、嘱託職員の採用等により事業費が増加。 84,352,238（円）／69539（人）＝1.2（千円）</p>
------------------	--

今後の改善方策	<p>○目標入館者数の達成</p> <p>○運営コスト抑制に引き続き取り組む。</p>
----------------	---